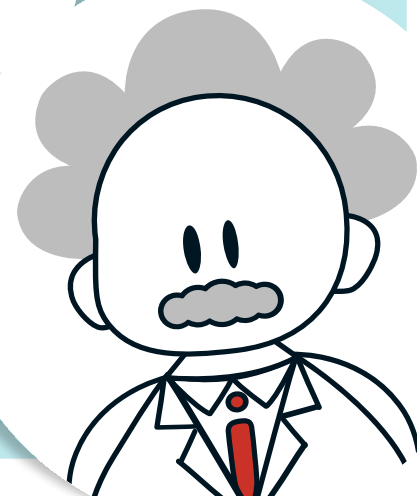
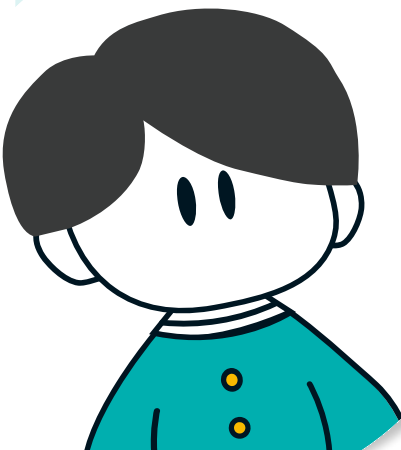




資産運用 デザインゲーム

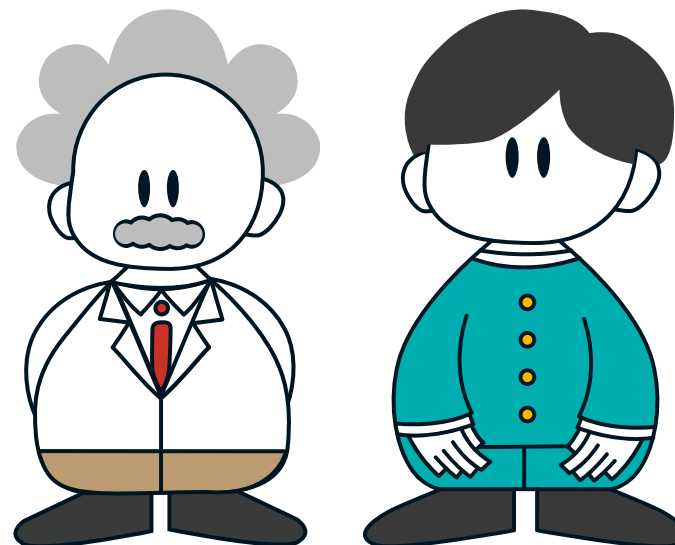
ゲーム操作説明書 ver 1.0

ゲームで楽しく学ぶ「お金の授業」



00. もくじ

- 01 ゲームの概要
- 02 ゲームの流れ
- 03 冒頭
- 04 資産計画の入力
- 05 資産運用の実績
- 06 ライフイベント
- 07 ソーシャルイベント
- 08 資産結果



01.ゲーム概要

資産運用デザインゲームって？



「資産運用デザインゲーム」は、ライフプランを実現するために総合的な資金計画を立てることを示す「ファインランシャルプランニング」を擬似体験する無料のシミュレーションゲームです。結婚や子供の誕生などの自分自身のライフイベント、経済情勢などの変化によるソーシャルイベントに対応しながら資産計画を体験していきます。

ゲームの概要

対象者	中学生、高校生、大学生、新社会人をはじめ全ての方
-----	--------------------------

プレイヤー数	1名または複数人のグループで1ゲーム
--------	--------------------

所要時間	30分程度/個人でプレイする場合 60分程度/複数人でプレイする場合
------	------------------------------------

使用に適した科目	家庭科、社会（公民的分野）、総合的な学習の時間
----------	-------------------------

必要なもの	インターネットに接続できるパソコン、サイコロ
-------	------------------------

02.ゲームの流れ

どのようにゲームが進行？



25歳から定年退職の65歳までの想定して、決められた職業の収入から資金運用を行い、65歳までに資産額2000万円を目標に、節目節目で資金計画を行っていきます。



03.冒頭

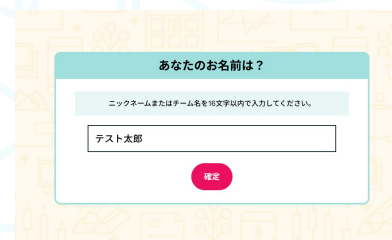
ゲーム開始時はどのような内容？



冒頭では、老後2000万円問題に触れながら、ゲームの主人公の初期設定を行っていきます。

01 名前の入力

ゲームの主人公の名前を16文字以内で設定します。グループで進行する場合はグループ名を設定することをオススメします。



02 職業の選択

職業には、スポーツ選手・会社員・パン屋・フリーター・医者・販売員の計6種類から選択できます。選択すると、それぞれの職業の初期詳細（税金や保険料、退職金の有無、貯蓄割合など）が確認できます。



03 初期資産の確定

数字の書かれたカードを選択します。02.職業の選択で確認できる初期資産の内容とカードの数字を掛けた数字が初期資産となります。サイコロがある場合は、サイコロで決定すると良いでしょう。



04.資産計画の入力

資産計画をする方法は？



25歳から定年退職の65歳までの想定して、5年後（40歳・50歳の時は10年後）の資産計画を行っていきます。この資産計画ダッシュボードは25歳・30歳・35歳・40歳・50歳・60歳の計6回の資産計画の見直しがあります。

01 資産運用の入力

資産運用入力画面では、貯蓄割合、保険の加入、投資先を選択できます。

貯蓄割合：現在の収入から貯蓄する割合を計5回の資産計画で変更できます。貯蓄割合は都度上下1%変更できます。（特定のイベントが発生した場合は変更上下が変動します。）

例）可処分所得500万円・貯蓄割合10%の時（保険加入なし）

500万（可処分所得）×0.1（貯蓄割合）=50万（1年間の貯蓄額）

保険の加入：可処分所得から毎年10万円の支払で保険の加入できます。運用計画見直しの時期に加入の有無が選択でき、加入している期間はイベントによっての損失があった場合、保障が受けられることがあります。

投資先選択：預金・国内債券・外国債券・国内株式・海外株式の5種類から投資先を選択できます。債券や投資は利子・利回りがマイナスになる時があります。



投資先ヒント

預金：毎年、預金額に対して金利が加算

国内債券：毎年、投資額に対して利子が加算

外国債券：毎年、投資額に対して利子が加算

国内株式：毎年、投資額に対して利回りが加算

外国株式：毎年、投資額に対して利回りが加算

05.資産運用の実績

資産運用は見る事ができる？



同一画面の右側のボタンで資産運用の実績を表で見ることができます。25歳~30歳・30歳~35歳・35歳~40歳・50歳~60歳の資産運用の各項目実績を見ることができます。

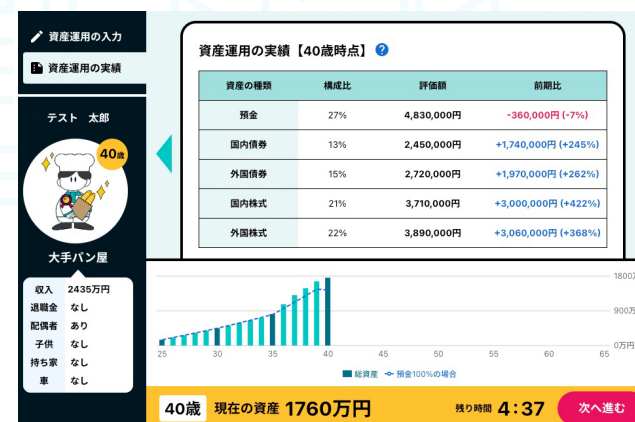
02 資産運用の実績

資産運用の各年齢は三角矢印で戻って確認することができます。

構成比：資産別の構成比です。

評価額：えられた運用利率を全て含んだ資産別の合計金額です。

前期比：前の期間と比べた時の資産別の増加・減少の金額です。



03 資産運用のグラフ

実績下のグラフは各年の総資産額（棒グラフ）と預金だけで運用した場合（折れ線グラフ）の比較です。マウスカーソルをグラフ上部に持っていくと、各年の推移が確認できます。

06. ライフイベント

ライフイベントとは？



資産入力が完了した後、ライフイベントが発生します。ライフイベントは2種類あります。

01 ライフイベントA

1~6のカードを選択し、昇進・自動車の購入などのライフイベントが発生します。サイコロがある場合はサイコロを振ってランダムに決めて頂くのも良いです。



02 ライフイベントB

複数枚あるカードの中から1枚選択し、結婚や休職などのライフイベントがランダムに出現します。



03 ライフイベントの結果

ライフイベントにはさまざまなイベントがあります。転職によって収入の増減があったり、結婚のため、結婚式費用の支払いなどがあったりとさまざまです。



07.ソーシャルイベント

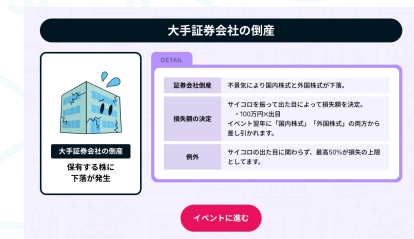
ソーシャルイベントとは？



ライフイベント終了後、社会情勢が変化するソーシャルイベントが発生します。

01 ソーシャルイベント

ソーシャルイベントは資産計画見直し都度、変化します。



02 ソーシャルイベントの結果

大手証券会社の倒産や、新政権誕生などのさまざまなイベントが発生します。そのイベントにあった資産計画を行ってください。

支払い等ができない時

イベントによっては予期していない出費が出てくる場合があります。支払いがどうしても難しい場合は、預金であればマイナスを許容して支払うことが可能です。

08.資産結果

ゲームの結果を見るには？



資産計画、各種イベントを65歳まで行い、最終の総資産運用の結果が表示されます。

01 資産結果

資産運用結果に多じてS~Cの4段階の評価が出てきます。総資産の合計や運用実績により、いかに資産を効率的に資産を形成できたかも評価の対象となっています。



02 振り返りレポート

スタート時の25歳からゴールの65歳までの資産形成の推移が1年毎に確認できます。国内債券・外国債券や国内株式・外国株式については実際の過去のデータが使用されています。

